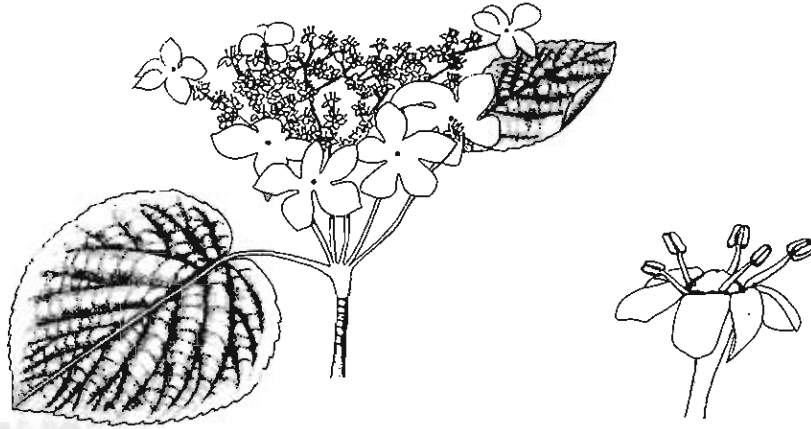


樹木だより

オオカメノキの花



5月の中ごろ、白い散房花序を枝先につけ周囲の中性花から開きはじめる。両性花は小さく、花序の中央にむれ集まる。花冠は5つに深く裂け、5本の雄しべがある。花には、蜜をなめに来るハナアブのなかまや甲虫類が集まっていることが多い。またミツバチも花上に見られるしアカマダラなどのチョウのなかまも飛来する。

樹高2mほどの低木で、落葉樹林の下層に生育している。夏の終り頃に赤い果実をつけ、やがて黒熟する。花・果実ともに美しく、枝を横に張り出す樹形であるので、庭木に適している。

(造林科 菊沢喜八郎)